

新・八幡の歴史 32回目

近世の八幡・その時代の経過の中で登場した男山の植物の話がありました。右の写真は、出口さんが八幡宮で実際に拾ってこられた木の実や落ち葉です。

前回はヤマアイ、孟宗竹と真竹、松、カヤ、オガタマノキが関連した事柄を話されてとても興味深かったです。

八幡宮の二の鳥居の太子坂あたりに一面にヤマアイが生育していたそうです。以前「街道を行く」で案内していただいた時に実際にありましたが、そんなに多くはなかったです。2019年の大嘗祭天皇や側近が着る衣(小忌衣・おみごろも・古代から神事に使われる)はヤマアイ染めにされる。それは男山に自生しているものがずっと使用されているそう。

① 日時 2021年12月9日(木)13時30分～

② 講師 出口修さん

③ 参加費 100円



八幡まるごと館 / 八幡市男山松里12-20 (TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



●
八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。